

10月市長定例記者会見 市特産品推奨認定制度実施



伐採作業が進められている新病院建設地

市長定例記者会見が10月2日、市役所大会議室で行われ、市民病院（仮称）の進捗状況、企業誘致、首都圏で行う特産品販売等について説明をしました。

市民病院（仮称）名称は実施設計で

はじめに市民病院（仮称）建築の現在の進捗状況及び指定管理者とする厚生連との協議内容について説明。

北秋中央病院跡地は「市総合計画に基づき、利活用を検討する」、運営費の財政支援は「結核や精神など市民に必要な政策的医療等不採算部門を前提としており、その他通常の医療運営にかかる財政支援をするつもりはない」、外来センターは「厚生連が運営できないとしており、それに市も同意。市としてやりたいが地元医師会とも話し合い、了解を得なければならぬ」として説明。

「ばならない」、新病院名称については「10月いっぱいでは基本設計ができ、11月に実施設計に入る。この段階ではつきりさせたいが、いずれ建設委員会決定すること検討中」と現在の進捗状況を説明しました。

特産品確立に向け推奨認定制度実施

特産品推奨認定制度は、市の特産品として位置づけられるものを確立するための制度で「来年は国体、翌年に全国植樹祭が控えているため、自他共に認める特産品を開発したい」と特産品を審査決定する推奨認定制度について説明。申込期限を今月20日とし、食品／木製家具／小木工芸品及び民工芸品を対象品目に、市（旧町）に関わりがあれば従来の商品も申請ができ、特産品として認定された商品は、市産業祭で展示されると説明しました。

企業立地協力推進懇談会を東京で開催

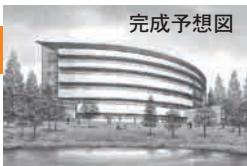
北秋田市企業立地協力推進会議は、各地区のふるさと会や市内の各高校同窓会、企業役員など関係者15人ほどを集め、企業誘致情報等を幅広く集約し、有効な意見や情報を発信して頂き、企業誘致につながるため、来月9日に東京都千代田区の法曹会館で行われることを明らかにしました。

推進会議の前日8日には、秋田県企業誘致推進協議会が開催されるため、市独自の誘致運動に切り替えて行われます。

市長日誌

9/16
〜
9/30

- 16日（土）鷹巣地区敬老式に出席
- 17日（日）小畑勇二郎生誕100年記念事業（式典及び語り夕べ）に出席
- 19日（火）森吉山周辺整備の促進について森吉山ダム工事事務所長へ陳情
- 21日（木）秋の全国交通安全運動出発式及びパレードに参加
- 27日（水）第1回北秋田市産業祭実行委員会に出席
- 30日（土）第31回大館北秋田PTA研修会・平成18年度北秋田PTA研修会に出席



北秋田市民病院（仮称）建設事業について

北秋田市医療整備基本構想と進捗状況

市では、3年後の平成21年10月の開院を目指し、北秋田市民病院（仮称）の建設を進めています。現在は、「北秋田市医療整備基本構想」にもとづいて基本設計の作成に取り組んでおり、今後、実施設計を経て建築工事へと進むこととなります。病院の建設について市民の皆様にご理解いただくため、「基本構想」の内容やこれまで決定した事項、進捗状況などをお知らせします。

病院の建設は、「北秋田市医療整備基本構想」という大きな方針に基づいて進められています（平成17年12月16日号の広報に概要を掲載）。

現在は、基本的な設計方針や平面・配置計画、外観などを決める「基本設計」に取り組んでおり、うち建物については10月末までに完成の予定です。また、建設用地については県と売買契約を締結、移転登記も終了し用地造成工事に入っています。

今後、詳細な設計図書を作成する「実施設計」を経て建築工事へと進むこととなりますが、市議会での決議事項を含め、病院建設の進捗状況について随時お知らせする予定です。

決定した病床数は

330床、診療科は21科

■政策医療について

病院基本構想ではこの病院を、地域の中核的な役割を果たす公立病院として位置付けています。

そのため、24時間体制の救急医療やがん治療などの高度医療に対応できるさまざまな政策的医療を提供し、市民の医療ニーズに的確に応え、信頼される市民病院をめざすこととしています。

政策医療には県医療計画に基づく政策的医療と市独自の政策的医療があり、次の医療を予定しています。

▽政策的医療

- ①地域救命救急センター
- ②地域療育医療拠点施設
- ③地域災害拠点病院
- ④へき地医療拠点病院施設
- ⑤健診センター機能整備
- ⑥臨床研修指定病院機能整備
- ⑦地域医療支援病院機能整備
- ⑧地域医療連携機能整備
- ⑨施設共同利用の実現（太字は県の政策的医療）

■病床数

（内訳）一般病床274床、精神科病床50床、結核病床4床、感染症病床2床

■診療科

（科の内訳）内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、精神科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、泌尿器科、放射線科、歯科口腔外科、形成外科、神経内科、皮膚科、リハビリテーション科

概算事業費は、

88億7456万8千円（基本構想）

■概算事業費及び財源

概算事業費については、現在基本設計策定中のため、基本構想での事業費を掲載しています。このため、基本設計完成後には事業費の変更があります。

■事業費総額：88億7456万8千円（事業費内訳）

- ▽用地取得造成費：3億1500万円
- ▽設計監督費：2億7840万円
- ▽建築工事費：69億3000万円
- ▽医療機器購入費：10億円
- ▽その他：3億5116万8千円（財源内訳）
- ▽国・県補助金：10億円
- ▽病院事業債：56億6440万円
- ▽出資金：20億4898万4千円（うち合併特例債：18億8800万円）
- ▽一般財源：1億6118万4千円

※次回は、事業費の具体的内容をお知らせします。

【今後のスケジュール（予定）】

基本設計業務	平成18年 3月	〜	平成19年 2月	建物設計は平成18年10月末までに完成
用地造成工事	平成18年 9月	〜	平成19年 8月	現在1次造成工事中
実施設計業務	平成18年 11月	〜	平成19年 6月	8ヶ月を予定
建築工事	平成19年 9月	〜	平成21年 5月	21ヶ月を予定
機器設置・患者移送	平成21年 6月	〜	平成21年 9月	
北秋田市民病院（仮称）開院	平成21年 10月			

